

令和4年度 氷見市教育総合センターだより 第5報

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果分析より

令和4年度全国学力・学習状況調査結果の分析に基づき、市内の各学校では、授業改善や学習習慣づくりの見直し等に取り組んでいただいています。ここでは、本市の結果及び実態についてお知らせします。

◆教科に関する調査の結果より（平均正答率）

小学6年	氷見市	全国	富山県
国語	66	65	67
算数	64	63	66
理科	66	63	68

国語：「我が国の言語文化に関する事項」について力が付いていましたが、「読むこと」「書くこと」に課題がみられました。描写を基に登場人物の気持ちや相互関係を捉える読む力、文章の構成や書き表し方等に注目して文章を整える書く力を育てていく必要があります。

算数：「数と計算」「データの活用」の領域について課題がみられます。目的に応じて数量の関係に着目して計算したり、分類・整理されたデータを目的に応じて選択し、必要な情報を読み取ったりするような力を付ける必要があります。

理科：「粒子」「生命」「地球」の領域については力が付いていますが、「エネルギー」の領域についてやや課題がみられます。実験の過程で得られた結果を適切に記録する活動を充実させる必要があります。

中学3年	氷見市	全国	富山県
国語	69	69	70
数学	51	51	55
理科	49	49	52

国語：「書くこと」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」については十分に力を付けています。「読むこと」に課題がみられるので、場面の展開や登場人物の心情の変化等を捉えるための生徒同士の話し合いの機会を充実させる必要があります。

数学：「図形」「データの活用」の領域において課題がみられますので、図形の条件を確実に理解したり、データの傾向を的確に捉えたりするような授業づくりに努める必要があります。

理科：「粒子」の領域について力を付けています。「生命」「地球」の領域に課題がみられますので、動物の形態の観察結果と調べた内容を関連付けたり、地層の広がりや傾きを分析し解釈したりできるような活動を充実させる必要があります。

◆児童生徒質問紙調査の結果より（全国・県平均と比較して）

「挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感」の視点から

「自分にはよいところがある」と答えた児童生徒は全国平均を上回っています。また、「将来の夢や目標をもっている」「人の役に立つ人間になりたい」と答えた児童生徒はいずれも県・全国平均を上回っています。児童生徒は、自己存在感や充実感を実感しています。学校生活では、共感的な人間関係を育み、自己実現を図ることができるよう、更に指導を充実させていくことが大切です。



「学習習慣・基本的な生活習慣」の視点から

「新聞をほぼ毎日、週に1～3回程度読んでいる」と答えた児童生徒は全国平均を上回っています。日常的に情報収集したり活用したりしようとする習慣が身に付いています。更に読書活動をはじめ学校の教育活動全体と関連させる指導が工夫できるとよいです。

「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人との約束を守っている」と答えた児童生徒は全国平均を下回っています。家庭との連携を図り、児童生徒が家庭での過ごし方を振り返る場をもつなど、生活時間を見直すことができるよう指導の工夫が必要です。

「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と答えた児童生徒は県・全国平均を下回っています。発達の段階に応じた家庭における学び方を示したり、学校の授業と関連させたりするなど、学ぶ意欲を高める指導の工夫が必要です。

ICTを活用した授業づくり研修会

9月21日(水) 十三中学校

11月30日(水) 西の杜学園

指導助言 富山大学大学院教職実践開発研究科 准教授 長谷川 春生 先生

【十三中学校】1年国語科「さまざまな表現技法」授業者:引谷 樹 教諭

○ねらい

- ・他者の俳句に使われた表現のよさを見付けることで、表現技法の種類や効果について理解を深めることができる。

○学習の様子

- ・Teamsで俳句作品や背景となった写真を共有したことで、様々な作品をスムーズに鑑賞することができていた。
- ・様々な表現に触れることで、表現技法の種類や効果について考えることができていた。

○指導助言

- ・生徒は端末操作に習熟しており接続環境も整っていることで端末がスムーズに使われ、本時の学習に有効に働いていた。
- ・生徒同士で作品について質問し合ったりメッセージカードを交換し合ったりと直接交流する姿が見られ、生徒は端末だけではない様々な関わりの中で学ぶことができていた。

○協議会

- ・参加者がTeamsのWhiteboardを使ってグループ協議を行い、全体協議で意見を共有した。



【西の杜学園】2年生活科「すてきはっ見!ぼくらの町たんけん」授業者:屋敷 香奈子 教諭

○ねらい

- ・これまでの町探検を通して自分が感じたことや見つけた町の「すてき」について、伝えたいことを工夫して表現することができる。(教科)
- ・自分が伝えたいことをアニメーションにするために、伝えたい内容を構成するパーツやその動きを分解して捉え、どのように組み合わせる改善すれば伝えたいイメージに近づくか考えながら、アニメーションを作ることができる。(プログラミング)

○学習の様子

- ・児童一人一人が伝えたいことやアニメーションのイメージを明確にもち、見る人に伝わるように集中してプログラムを作成していた。
- ・「見て聞いてタイム」や「パワーアップタイム」があったことで、友達から助言をもらったり友達の作品からヒントを得たりして、イメージに合ったプログラムになるよう工夫できていた。

○指導助言

- ・教師が教材研究をしっかりと行い、思いをもって授業を行うことが大切だと改めて見せていただいた。
- ・低学年でも使いやすい教材を使用し、試行錯誤する時間がたっぷりと取られていた。プログラミング的思考を育むことにつながるよい実践であった。

○協議会

- ・参加者がTeamsのWhiteboardを使ってグループ協議を行い、全体協議で意見を共有した。



若手教員研修会

小学校の部 11月9日(水)開催 講師 氷見市立朝日丘小学校 丸山 めぐみ 教諭

氷見市立比美乃江小学校 森田 智子 教諭

中学校の部 11月11日(金)開催 講師 氷見市立南部中学校 青木 めぐみ 教諭

小学校の部では「学級づくり・授業づくり」について学びました。丸山先生、森田先生の豊かな経験談に触れ、意欲を高めることができました。中学校の部では「自分たちで考え、主体的に動き出す集団の育成」と題して、青木先生に教えていただきました。どちらの研修も参加者同士がグループになって悩みを語り合い、意見を交換しながら体験的に学ぶことができました。



<参加者の声>

- ・とても刺激的なひとときでした。若い先生方と授業や学級のことを自由に話したり、素敵な先輩教員の実践についてたっぷり聞いたりすることができたからです。学ぶことが多く、教員になってよかったと改めて実感しました。イメージしやすく、ぜひ実践してみたいです。
- ・生徒主体として、生徒に任せてしまうのはとても勇気のいることだと思っていましたが、私たち教員が手を出しすぎて、生徒の成長の機会を逃してしまっていると気付かされました。

氷見市制施行 70 周年記念事業

令和 4 年度「ひみっ子の夢と希望」きらめき推進事業 講演会 11 月 15 日開催

演題 「オムライスと出会うために」 講師 歌手 CHIKO（チコ）氏

氷見市では、氷見の教育基本方針の基本理念「ふるさと氷見を愛し 次代を担う人づくり」を掲げ、「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」を体験し、社会の一員として将来の自分の姿や生き方を考え始めた中学校 2 年生、義務教育学校 8 年生を対象に、郷土の著名人や一流選手等を招いて講演会を開催しています。

本年度は、多くのコンサートや CM ソングの歌唱を行ったり、テレビ出演やラジオパーソナリティを務めたりするなど、ふるさとの富山県を拠点に活動している歌手の CHIKO さんを講師に招いて、氷見市芸術文化館で講演をしていただきました。

CHIKO さんの父親はアフリカ・コンゴ民主共和国出身のミュージシャン、母親は魚津市出身の人形作家です。高校生まで周囲と自身との違いや偏見に悩み、後ろ向きに自分を捉えていた CHIKO さんが、母親の支えもあり、自分を好きになる努力をしようと、勇気を出して歌手の道に進んだ体験を語りました。進路を考えると、選択肢を広げるようにすることで豊かな人生になると、コンゴの応援歌とともに力強い歌声を披露し、中学生に励ましのエールを送りました。



講演会に参加した生徒の感想より（一部抜粋）

- | |
|---|
| ○自分を好きになることはとても難しいことだと思います。それでも歌に出会って、自分のことを好きになろうとした CHIKO 先生はすごいと思いました。CHIKO 先生の歌はどれも美しく、思いが込められていて、迫力がある歌を聴くことができました。 |
| ○みんなと違うことは決して悪いことでも、だめなことでもなく、みんなと違う部分があったとしても、それが自分だということを受け入れることが大切だということが分かりました。周りとは違う自分がいるからこそ自分なんだと思い、自分に自信が付きました。 |
| ○「普通」という言葉は、すごく難しくて感じ方や捉え方が異なるので、むやみに使わず、考えて使い分けることが大切だと思いました。言葉の重要性や捉え方の大切さを学びました。 |
| ○特に心に残っているのは、「自信をもつには、たくさん練習することが大切」という言葉です。緊張しても 100% の力を出すには、普段の練習で 200% やそれ以上の力を出すようにしたいです。 |
| ○「自分が嫌いなまま生きるには人生は長すぎる」という言葉がとても印象に残りました。自分にコンプレックスがあり、すぐに人と比べてしまうところがあります。自分の嫌いな部分も含めて、自分を好きになろうと思いました。 |
| ○透き通ったきれいな歌声で、CHIKO 先生自身も楽しそうに歌っている姿に魅了されました。CHIKO 先生のように私も笑顔で自分の選択肢を増やすよう、自分のメニューを増やしたいと思います。自分を好きになって成功したときの私を想像していこうと思うことができました。 |



新ALTの紹介

10月に新しいALTのAndrew Asplin（アンドリュー・アスプリン）先生が、氷見に着任されました。メッセージをいただきましたので、紹介します。

Hello, I'm Andrew Asplin. I moved from my hometown, Omaha, Nebraska, to Himi about two months ago. Before coming here I worked as a writing consultant for my university. Now, in Himi, I work at two elementary schools: Kubo and Miyada. I've really enjoyed the parts of Himi I've been able to experience so far. The temples, the natural beauty, and the restaurants of Himi have all made living here a great experience.

I am especially glad I was able to help put on a small Christmas event for some of Himi's students that attend schools other than the ones I work at. It has been fun getting involved and getting to know so many new people. I look forward to getting to know even more of you all!



ALT への指導助言

講師 外国語活動推進アドバイザー 稲積 玲子 先生

氷見市では、「外国語教育ひみプラン」に基づき、9年間の外国語教育を通じて、児童生徒が英語を使って積極的にコミュニケーションを図り、様々な相手と温かい人間関係を築くとともに、自分やふるさとに誇りをもち、自信をもって互いに思いや考えを伝え合うことができる資質や能力の育成を目指しています。「外国語教育ひみプラン」による授業を推進するために、外国語活動や外国語科の授業参観を通じて、外国語活動推進アドバイザーによる指導助言を行いました。

本年度は、新任 ALT 等が派遣されている、5月31日（火）朝日丘小学校5年生、6月14日（火）上庄小学校4年生、11月24日（木）湖南小学校3年生、12月1日（木）窪小学校5年生にご協力をいただきました。

***** 多くの方々に ご活用いただいています！ *****

4月からの貸し出し冊数が、[163冊](#)(12月現在)になりました。今年度は特に **ICT 教育関係、特別支援教育関係の図書**が豊富に揃っています。**教育関係月刊誌や季刊誌、学習指導案集**もあります。

K 小学校では、菊池省三先生の「白熱する教室」を教職員で1人につき2～3日ずつ回覧し、各自、興味のあるところを読むというようにして活用されています。

<新着図書>・1人1台端末活用パーフェクト Q&A



・できる1人1台端末 Teams for Education

・学校 ICT サポートブック

・おしえて！くもくん -プライベートゾーンってなあに？-

佐藤和紀・三井一希 編著 明治図書

宮本博紀・山口修一 編著 明治図書

教育あるある探検隊 編著 学事出版

小笠原和美 著 東山書房